

## 1 基本目標

本県の農業は、広大な農地や大消費地に近い立地条件といった強みを生かすとともに、多くの意欲的な生産者の努力や創意工夫により多様な農産物がバランス良く生産されるなど、地域を支える重要な産業として発展してきました。

また、農業・農村は、食料の安定供給に加え、良好な景観の形成や県土保全等の多面的機能を有しており、多様な人々が生き生きと働き、生活する場としてますます期待が高まっています。

人口減少や経済のグローバル化の進展、感染症の発生など様々な状況変化が生じる中、力強い産業として本県農業をさらに成長させ、次の世代へとつなげていく必要があります。

このため、本計画における基本目標を『**成長産業として持続的に発展する農業・栃木**』とします。

| 目 標       | 項 目             | 直近値                        | 数値目標(2025年)                |
|-----------|-----------------|----------------------------|----------------------------|
| 農家の販売力    | 販売農家1戸当たりの農業産出額 | 793万円<br>(2018年)           | 1,000万円<br>(2024年)         |
| 地域農業を支える力 | 青年新規就農者数(5年間)   | 1,264人/5年間<br>(2016-2020年) | 1,600人/5年間<br>(2021-2025年) |
| 地域の持続力    | 担い手への農地集積率      | 52.7%<br>(2019年)           | 80%<br>(2025年)             |

## 2 施策の展開方向

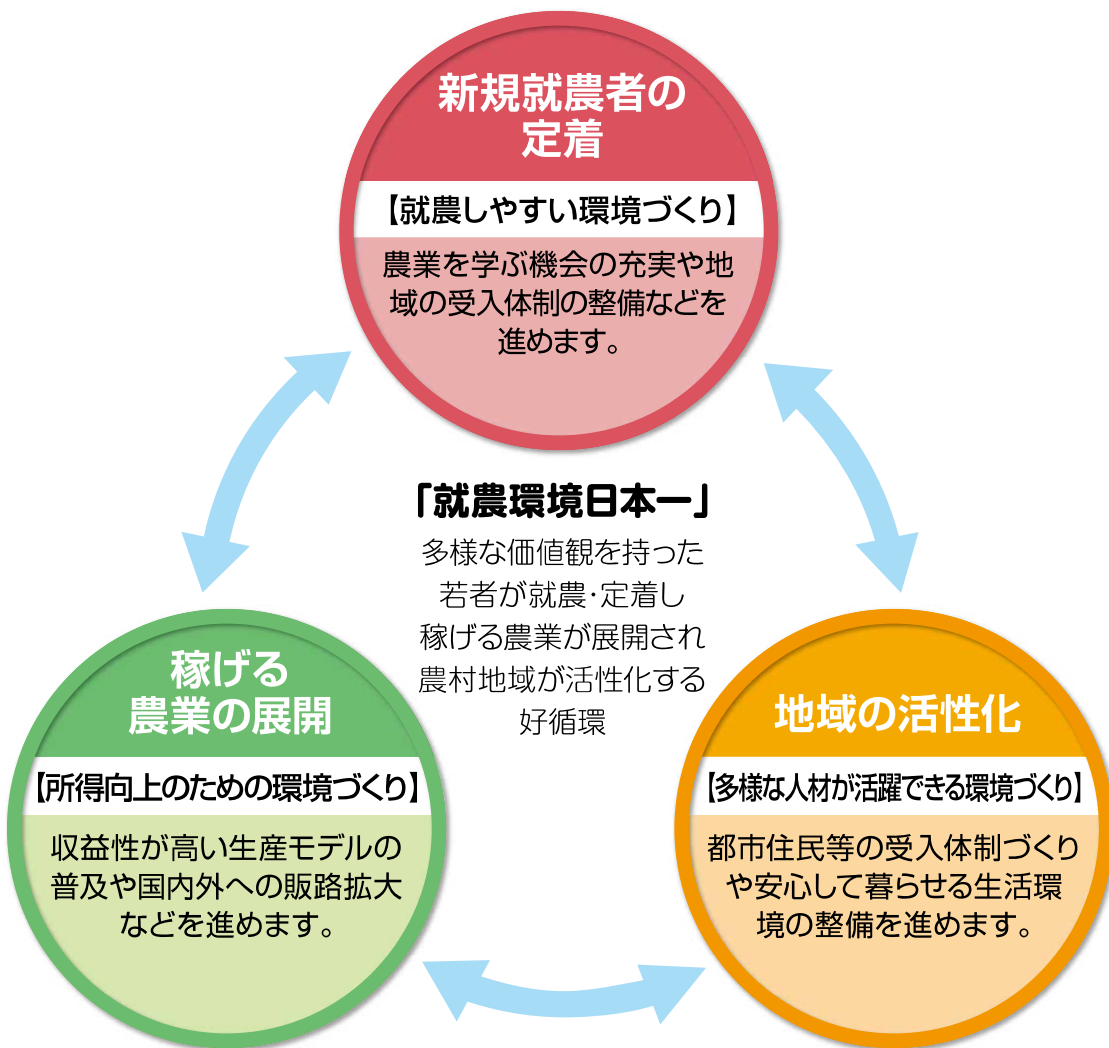
この基本目標を実現するためには、農業の収益力強化を図るとともに、安全・安心で活力ある農村づくりを進めていく必要があります。

こうした農業経営や農村を支える施策を、県をはじめ市町や農業団体等関係者が一丸となって推進することで、若者が本県で就農することを選び、稼げる農業者が増加するとともに多様な人材が地域で活躍できる「就農環境日本一」を築いていきます。



## 栃木がめざす「就農環境日本一」

「就農しやすい環境づくり」「所得向上のための環境づくり」「多様な人材が活躍できる環境づくり」を進めることで、本県に就農・定着する農業者が増加するとともに稼げる農業が展開され、農村地域が活性化する好循環を生み出す全国に誇れる就農環境を築いていきます。



県・市町や農業団体等関係者が一丸となって  
総合的・体系的に施策を展開

『成長産業として持続的に発展する農業・栃木』の実現